



やぐもだい

令和8年9月30日
調布市立八雲台小学校
校長 石川 淳
<https://www.chofu-schools.jp/yagumodai-sho/>



よく考える子ども

副校長 田口 修

本校の教育目標の一つに「よく考える子ども」があります。学びの一つの特性として「考えること」の大切さが昔から言われています。ただただ教わるのではなく、自分で方法を考え、試行錯誤しながら、課題を解決することで自分事として確かな力が身につくといわれています。

9月の半ばまで、夏の自由研究が展示されていました。自由参加の学年と必須の学年がありました。1年生の夏らしい工作から、自分が疑問に思ったことを実験で調べたり、旅行に行った先で見学したことを深く調べたり、初めて家族のために作った夕ご飯の記録であったりと多種多様な作品が展示されていました。その中でも、3年生の「ありが好きな食べ物」と1年生の「くさった食べ物からむしがうまれるのか」を紹介します。どちらも普段の生活の中での子どもの素直な疑問から調査が始まっています。そのために必要なモノを用意し、時間的経過と状態変化と数的変化を記録していました。科学の第一歩として大事なことを網羅しながら調査することができました。



3年後より、「探究的な学習」が取り入れられたカリキュラムへと変わっていきます。「課題を立て、方法を考え、友達と学び合い、解決する」という活動です。ぜひ、来年度の夏休みもたくさんの自由研究が展示されることを楽しみにしています。また、今月より、音楽会に向けた取り組みも増えてきます。楽器の演奏や合唱も自分なりの課題をもって取り組むとよいでしょう。



先月は、感染症が流行しました。しっかりと手洗いをし、手をハンカチでふく習慣と、十分な睡眠をとる習慣を身につけ、病気を寄せ付けないようにしたいですね。

◆学校運営協議会のコーナー & 地域連携の紹介◆

○学校運営協議会 9月17日(木)

第3回学校運営協議会が開催されました。授業を観察して子どもたちを見ていただいたり、秋に行われる学校評価の質問事項を検討したり、本校の研究について説明を受けたりしました。学校に関わることを学校とともに検討し、よりよい教育活動を推進していきます。

○地域学校協働本部 9月24日(木)

3年生の学習の一環として「外国の方との交流」が行われました。地域協働本部のコーディネーターが電気通信大学の留学生センターと交渉し、3名の留学生が来校し、3年生と交流を持ちました。各学級に入り、児童を学習するだけではなく、ともに給食を食し、深い交流をもちました。